

当院では、以下の臨床研究を実施しております

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、以下の『お問い合わせ先』までご連絡下さい。

研究課題名	院内の心肺停止患者に対するアドレナリンの初回投与に関する検討： 単施設後ろ向き研究
研究責任者	京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 教授 村木 優一
本研究の目的	心肺停止が起こった患者さんに対して、アドレナリンという医薬品が投与されることがあります。心肺停止と分かった時に、アドレナリンを早期に投与することが推奨されています。しかしながら、アドレナリンを投与するまでの具体的な時間は規定されていません。 そこで、今回、心肺停止時におけるアドレナリンの効果と投与するまでの時間との関係を明らかにし、更にはアドレナリンの早期投与を妨げている要因についても調査することを目的に研究を行います。
研究期間	倫理委員会の承認後から 2027 年 3 月まで
研究の方法 (利用または 他の研究機関へ提供 する試料等)	●対象となる方 京都岡本記念病院で 2020 年 4 月から 2023 年 3 月に心肺停止となられた患者さんで、かつ、初期の心電図波形が心静止か無脈性電気活動であった患者さん。 ●収集し解析に用いる情報 診療録を用いて下記の情報を収集します。 年齢、性別、入院病名、併存疾患、 β 遮断薬の投薬の有無、発見時の時間帯、入院病棟、初期心電図波形、心拍再開の有無、24 時間生存率、30 日生存率、発見から心拍再開までの経過時間、発見からアドレナリン投与までの時間、アドレナリンの投与量及び投与回数、発見時の静脈ルートや心電図モニター装着の有無
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	得られた情報は、アクセス制限を設けたインターネット上で共同研究先である京都薬科大学に提供する。
試料/情報の 提供先およびその長	京都薬科大学 学長 赤路 健一
試料/情報の利用者	京都薬科大学 臨床研究薬剤疫学分野 教授 村木 優一 京都薬科大学 臨床研究薬剤疫学分野 助教 冨瀬 諒 京都岡本記念病院 薬剤師 瓦 比呂子
個人情報の取り扱い	調査する情報には、患者さんのお名前や住所等の個人を特定できるような情報は含まれません。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
試料/情報の 提供停止について	試料・情報の利用または京都薬科大学への提供について、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024 年 6 月 30 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	無
試料/情報の 管理責任者	京都岡本記念病院 薬剤師 松本 圭司
お問い合わせ先	京都岡本記念病院 臨床研究センター ☎ 0774-48-5500(病院代表) (対応可能時間 9 時～17 時 但し土・日、祝日、年末年始は除きます)